



コミュニティバスの窓から

バス（町内散策）の行程

9:40～ 市街地循環バス乗車
10:20（当別駅前発）

10:20～ 駅前れんが倉庫
視察

10:35～ バス 金沢線乗車
10:55（当別駅前発）

10:55～ バス 西当別線乗車
（当別駅前発）

11:09 バス 西当別線
スウェーデンヒルズ
管理センター前下車

懇談
レストランAri（アリ）

今、当別では協働の取り組みを進めており、コミュニティバスや赤れんが倉庫をはじめとした、新たな施策がスタートしています。

7月27日（水）様々な場面で当別に貢献をして来られた町政功労者4名の方と泉亭町長がコミュニティバスに乗って町内を散策しました。

車窓からまちを眺め、長い間当別を見続けて来られた視点でご意見をお聴きしました。

今回コミュニティバスに乗車し、ご意見を頂いた4名の皆さん



皆川壽美さん（緑町）
町内で永年に亘り
司法書士事務所を開業
・藍授褒章受章
・勲五等瑞宝章受章
・町政功労者



長谷川政吉さん（春日町）
・元当別町助役
・町政功労者



中鉢正夫さん（栄町）
・元農業委員会事務局長
・町政功労者



宮永美代子さん（幸町）
・元当別町赤十字奉仕団委員長
・紺授褒章受章
・勲五等瑞宝章受章
・町政功労者

泉亭町長 協働の施策として4月からコミュニティバスが運行開始しました。乗客数は順調ですが、まだまだ多くの改善すべき点はあると思っています。

バスに乗って、街なみを見て、気が付いたことなどをお聞かせください。

長谷川さん 運行開始の頃は乗り継ぎが不便な印象がありましたが、実際に利用するとそれ程不便では無いですね、ただ、時刻表が見づらいといった声をよく耳にしますね。

宮永さん バス定期券を持っていますが、時間が合わないことなどから、あまり利用はしていませんでした。

JRとバスとの乗継時間は高齢者や体の不自由な人には、10分くらいの時間の余裕があったほうがいいですね。

中鉢さん バスは、病院に行くときによく利用していますが、田園風景やスウェーデンヒルズの街なみを見ることが出来、気持ちよく体にもいいですね。自転車が使えない季節には、路線をもっと工夫すると利用者が増えると思います。

こうしてバスでまちを眺めると、駅前大通の整備の様子が良くわかり、だんだんと街なみが良くなって来ていますね。

皆川さん 当別小学校前に虹の橋ができて便利になりました。

先日、橋の上から川を覗いたら、魚を見かけました。川がもっときれいになって、魚がたくさん泳ぐようになるとまちに潤いが生まれて来ますね。

宮永さん パンケ川は、このまちの郷愁を誘いますね。昔は川に入って遊んだり、泳いで遊ぶ子どももたくさんいました。

手ぬぐいを持って川魚を取った記憶もあります。水の量が増えれば川もきれいになり、魚も増えると思います。

泉亭町長 当別駅前前の昔の賑わいをもう一度と考えて、倉庫に多くの人々が集い、憩いの空間となるようにと、この倉庫の活用について住民の皆さんの意見を取り入れながら計画づくりを行っています。

宮永さん 「このまちの人々が、動くときの拠点であった駅前に来て、今はお茶を飲む場所も無いね」と、よく友達と話していました。少しの間でも休憩できる場所があると嬉しいです。

皆川さん 私も、駅前に人々が集える場所があると人と人の心が繋がり、まちが賑やかになって行くのではないかと思います。

中鉢さん 駅前に賑わいを創出できそうですね。文化ホールや公民館の代替施設として期待できる、面白い施設として活用できそうで、私は楽しみにしています。

泉亭町長 まちで最近変わったこと、昔と変わらないものは何でしょうか？

皆川さん バスの窓から見える農村風景は変わりませんが、以前は、当別の土地や建物の売買や色々な手続きは地元の司法書士に依頼する人が多かったのですが、最近は町外の不動産会社が多く手がけるようになりました。

新しい人の住宅も増えてきているので、このまちで様々なお仕事に携わる方がたくさん住まわれると良いですね。

宮永さん 子どもの頃の馬車や軌道が走っていた頃から考えると交通は便利になりました。移動は車が中心ですが、年をとるとバスは多くの友人と気軽に出かけられますね。昔は青山の頭首工でよくお花見をしましたが、これからはバスを利用して、自然に触れ合える青山に行きたいですね。

長谷川さん 乗車1時間程度でしたが、こんなに短い時間で当別のまちを見てまわることが出来るとは思わなかった。

楽しみが一つ増えた感じです。町内の観光ができるバスが出来ると面白いかも。

中鉢さん これからも当別に住んでいる人が、楽しい暮らしを送れるようなまちづくりを進めて欲しいですね。

泉亭町長 本日はありがとうございました。今後も様々な事についてご指導ください。



れんが倉庫の活用を説明

今回、私は当別町の様々な分野でご尽力いただいた方々をコミュニティバスにお乗り頂き、町内を散策しました。

町の施策であるコミュニティバスとれんが倉庫などを中心にご案内させて頂き、色々お話をお聴きし、改めて当別のまちに対する4人の方の「深い思い」を感じ取ることができました。

紙面の都合上、掲載できませんでしたが、このほかにも今後の行政に大きく役立つアイデアやご意見を数多く頂きました。

これから当別が進める協働のまちづくりには町民の皆さん一人一人の声が大切です。

今後もより多くの方のご意見をお伺いし、町政に生かして参りたいと考えております。

当別町長 泉亭 俊孝

当別赤れんが6号整備工事がスタート

来春のオープンを目指し、当別駅前れんが倉庫「当別赤れんが6号」の整備工事が今月から着工します。昭和17年に建設され、農協の農業用倉庫（床面積約540㎡）として長く利用されてきたれんが造りの建物を町が購入し、住民が集うことができる施設に整備するため日本宝くじ協会の全額助成（約8,700万円）を受けて行います。

工事完了予定の来年2月までの期間、施設周辺の皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

▼担当 商工課（☎23 - 3129）

れんが倉庫は、このような利用ができるようになります

①カルチャーホール

コンサート、演劇、カラオケ、講演会、パーティーや懇親会など、様々なイベントが催せます。（約150人収容）

②カフェコーナー

当別の食材を使った軽食を楽しめ、キッズコーナーもあり、お子さん連れでも気軽に利用できます。

③ギャラリー・多目的コーナー

物販、展示会、作品展など、皆さんのアイデアしだいで楽しい空間を作ることができます。

④パン焼きれんが釜

姉妹都市レクサンド市で使われている釜で焼いたパンを賞味できます。

⑤楽屋

楽器練習や控え室、打合せ室として利用できます。